

2019年度公益財団法人よこはまユース事業計画

I 2019年度 事業概要

2019年度は、公益法人制度改革に伴い「公益財団法人 よこはまユース」に移行して9年度目、「第2次中期経営方針30年度から3か年」に基づく事業実施の2年度目であり、こども青少年局と締結した新たな協約に取り組む初年度となります。

よこはまユースは、すべての青少年が健やかに育ち、絆を結び、社会の一員となっていくために、今不足しがちになっている『多様な人々と出会い交流する機会、体験を共有できる機会』を提供していくことが重要な課題であると捉えています。

この課題解決に向け、『様々な体験を積み重ねること』が青少年の成長にとって大切であることを社会や家庭に伝え、地域活動の支援、青少年の成長を支える人材の育成、体験活動の充実に取り組み、中間支援組織としての役割を果たすことで、地域や学校、関係団体が連携・協働して青少年と大人が体験を共有し交流できる場を拡充します。

《目標》

青少年と大人が体験を共有し交流できる場を拡充します。

1 目標達成のための取組と主な事業

取組1：青少年が多様な人々と関わり経験の積み重ねができる地域活動を支援します

活動を展開するための効果的な場の提供、相談・助言・コーディネート、青少年及び体験活動等の調査、資料収集・情報発信等により、地域活動や青少年の主体的な活動を支援します。

【役割】（あ：施設の貸与 え：相談、助言 お：調査、資料提供）

- (1) 青少年育成活動を展開するための安全で効果的な場の提供と検討
- (2) 青少年に対する相談・助言、情報提供、コーディネート、研修や地域活動のプランニング
- (3) NPOや企業の社会貢献活動や青少年育成活動、学校の体験学習等との連携及び、青少年活動の成果や効果の理解を図るための調査研究

【主な事業】

- (1) 青少年交流・活動支援スペース、青少年育成センター、野島青少年研修センターの諸室及び物品の貸出
- (2) 地域に向いた活動プランニング／放課後キッズクラブの安定的な運営に向けた相談、助言／青少年育成センターでの相談・コーディネート（相談窓口）
- (3) 青少年に関する実態調査及び、体験活動等に関する調査／青少年育成活動等の資料提供

取組2：青少年の成長を支える人材を育成します

青少年を支える人材や体験活動・地域活動・放課後児童育成に携わる人材を育成するための講座・研修を実施します。

また、地域の人たちが青少年や地域に関する知識や課題を共有・理解する機会として、講座・ネットワーク会議・交流会等の実施や研修講師を派遣します。

【役割】（い：講座、セミナー、育成）

- (1) 青少年に関心を持つ人材の拡大とネットワークの推進
- (2) 青少年に関わる人材の育成と検討
- (3) 放課後児童育成に関わる人材の育成

【主な事業】

- (1) 青少年の育成等に関する啓発講座のコーディネーター・講師派遣、青少年理解のための啓発事業の実施
- (2) 青少年育成センター、野島青少年研修センターの研修・講座等の諸事業
- (3) 放課後3事業スタッフの人材育成研修

取組3：地域や団体、企業等と連携・協働して体験活動を拡充します

青少年が、多様な人々と出会い交流する機会、体験を共有できる機会として、社会参加、自然体験、就労体験、集団宿泊体験等の事業を実施します。事業実施にあたっては、団体や企業等との連携・協働を目指し、より充実し多様な体験活動の機会を提供します。

併せて、放課後キッズクラブを運営し、小学生が集団での遊びや体験活動を通じ、自ら学び育つことができる機会を提供します。

【役割】（う：体験活動等）

- (1) 青少年が体験を通じ、学び育つことができる機会としての体験事業の企画・実施
- (2) 支援を必要とする家庭に育つ小・中学生への自立支援
- (3) 小学生が豊かな放課後を過ごすための居場所の提供

【主な事業】

- (1) 野島青少年研修センター、青少年交流・活動支援スペースでの体験事業、青少年育成団体や地域の関係機関等と協働した体験事業
- (2) 寄り添い型生活支援事業「かもん未来塾」の運営
- (3) 放課後キッズクラブの運営

その他、法人の目的を達成するために必要な取組

職員の人材育成に取り組むとともに、寄附金の募集など組織や経営基盤の強化を図ります。

また、事業報告や成果を速やかに周知・広報し、多くの市民や青少年に法人をPRし、青少年活動への関心と参加を喚起します。

【主な事業】

- (1) 賛助会員及び一般寄附者の拡充（会員募集事業 他）
- (2) 寄附金拡充を目的とした収益事業（爆笑！濱っ子寄席）
- (3) 職員の人材育成（新採用研修、実務専門研修、管理職研修、人権研修）
- (4) 広報・PR（ユースレターの発行、ホームページの運営管理）

2 事業の柱と公益目的事業区分

当法人の定款に定める事業の柱と公益目的事業区分は次の通りです。

【事業の柱】

- A：青少年活動を支援する事業
- B：青少年を支える人材を育成する事業
- C：青少年に体験機会や活動の場を提供する事業
- D：その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

【公益目的事業区分】

- あ：施設の貸与
- い：講座、セミナー、育成
- う：体験活動等
- え：相談、助言
- お：調査、資料収集

A：青少年活動を支援する事業

あ：施設の貸与

この事業は、青少年育成活動を展開するための安全で効果的な場を提供することで、青少年の育成に寄与することを目的としています。指導者・育成者による打合せや準備、活動の場として施設を提供するほか、また、青少年が主体的に関わることができる体験活動や宿泊プログラムがより充実できるように、相談や情報提供による支援を行います。

なお、施設の特徴や利用案内に関しては、施設パンフレットやホームページに情報を掲載し幅広く周知します。

【主な事業・取り組み】

- 青少年交流・活動支援スペースの運営
- 青少年の指導者・育成者の活動拠点の運営（青少年育成センターの諸室及び物品の貸出）
- 青少年の集団宿泊体験活動拠点の運営（野島青少年研修センターの施設・設備貸出）

え：相談、助言

この事業は、青少年と大人が共に育つ環境を醸成することで青少年の育成に寄与することを目的としています。

青少年が事業に関わることで自らが学び・育つ機会を幅広く提供するために、青少年に対する相談・助言、情報提供、コーディネート、研修講師の派遣・紹介、研修や地域活動のプランニング等、多様な支援を行います。

【主な事業・取り組み】

- 地域の青少年育成活動の推進・支援
- 青少年をテーマとした社会貢献活動の推進・支援
- 青少年に対する日常的な相談・助言、傾聴
- 相談・コーディネート、情報提供（研修・活動のプランニング、助言、講師派遣 他）

お：調査、資料収集

この事業は、青少年活動に活用できる資源の調査や事業効果を検証し、青少年活動プログラム開発のための基礎資料としての活用や団体及び教育機関に提供することで、青少年の育成に寄与することを目的としています。

横浜市内で行われているNPOや企業の社会貢献活動等と青少年育成活動や学校の体験学習等が連携することで、青少年が自ら学び育つことができる活動領域の拡大や活動機会を充実するため、市内の活動の調査、新規事業の開発を行います。

【主な事業・取り組み】

- 調査・研究事業（青少年育成事業に関する情報収集、青少年に関する実態調査及び、体験活動等に関する調査 他）

B：青少年を支える人材を育成する事業

い：講座、セミナー、育成

この事業は、青少年を支える人材や活動の核となる青少年を養成することで、青少年と大人が共に育つ環境を醸成し、青少年の育成に寄与することを目的としています。

青少年及び青少年育成に関する知識や技能を習得することで、青少年育成への理解を深め青少年育成活動の普及を推進し、青少年が自ら学び育つことができる機会の充実や自立支援に関わる人材を育成します。具体的には、社会的な課題をはじめ青少年育成活動の実践から得た課題を基に、テーマを定め必要に応じ専門機関・団体等と連携し講座・研修を実施します。

【主な事業・取り組み】

- 市民への啓発事業（子ども・若者エンパワメントセミナー 他）
- 青少年サポーターの活動の推進
- 地域の青少年関係者のネットワーク推進事業
- 放課後3事業スタッフの人材育成研修
- 青少年に関わる人材育成の研修・講座
- 青少年団体等を支援するための研修・講座
- 行政機関や青少年支援団体等と連携した人材育成
- 青少年団体等のネットワーク形成事業

C：青少年に体験機会や活動の場を提供する事業

う：体験活動等

この事業は、青少年が学校や家庭では得にくい多様な体験活動に参加することで、青少年の育成に寄与することを目的としています。

青少年が体験を通じ自ら感じ考えることで学び育つことができる機会として、就労体験、社会体験、自然体験、集団宿泊体験等の事業を企画・実施します。

具体的には、お互いに協力して目標を達成していく過程で、青少年が社会性や協調性を育み自ら成長していくことができるよう、集団や個人の特性に応じて活動領域や手法を変え体験活動を実施するとともに、青少年事業の研究・調査・開発を行います。

併せて、放課後キッズクラブを運営し、小学生が集団での遊びや体験活動を通じ、自ら学び育つことができる機会を提供します。

【主な事業・取り組み】

- 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業
- 道志村と連携した社会体験・交流プログラムの実施
- 青少年の交流・体験事業
- 社会参加事業
- 異世代交流促進事業
- 青少年支援事業
- 寄り添い型生活支援事業「かもん未来塾」の運営
- 放課後キッズクラブ運営（人材育成、地域人材の活用、高校生インターンシップの受入れ）
- 体験プログラムの提供
- 市民活動団体と協働した体験事業
- 困難を抱える青少年のための体験活動支援
- 地域交流事業

D：その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

この事業は、収益事業及び法人運営のための取り組みです。

①寄附金募集事業

当法人の取り組みを広く市民に周知し、理解を深め協力を得ることを目的として、収益事業の実施、募金箱の設置、賛助会員及び一般寄附者の拡充のための事業を行います。

【主な事業・取り組み】

- 賛助会員及び一般寄附者の拡充（会員募集事業 他）
- 寄附金拡充を目的とした収益事業（爆笑！濱っ子寄席）

②事務局運営

公益財団法人としての使命を果たすとともに、安定して継続的に運営できるよう、職員の人材育成やガバナンスの強化を更に推進します。

【主な事業・取り組み】

- 法人の広報・PR（よこはまユースレターの発行 他）
- 職員の人材育成
- 評議員会、理事会の運営

Ⅱ 2019年度 事業体系表

担当部署	事業の柱	公益目的事業区分	事業名
事業企画課 事業係	A 青少年活動を支援する事業	え 相談、助言	1 青少年を育成する活動の支援 2 活動の相談・助言
		お 調査、資料収集	3 調査・研究事業
	B 青少年を支える人材を育成する事業	い 講座、セミナー、育成	4 子ども・若者に関する講座・研修のコーディネート・講師派遣 5 市民への啓発事業
	C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	6 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業 7 道志村と連携した社会体験・交流プログラム
事業企画課 かもん未来塾	C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	1 寄り添い型生活支援事業
キッズ運営課	A 青少年活動を支援する事業	え 相談、助言	1 放課後キッズクラブの安定的な運営に向けた相談、助言
	B 青少年を支える人材を育成する事業	い 講座、セミナー、育成	2 放課後3事業スタッフの人材育成研修
	C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	3 放課後キッズクラブ運営
事業施設課 青少年 交流・活動 支援スペース (さくらリビング)	A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与	1 場の提供による活動支援事業
		え 相談、助言	2 相談による活動支援事業
	B 青少年を支える人材を育成する事業	い 講座、セミナー、育成	3 青少年サポーターの育成・活動推進事業 4 地域の青少年関係者のネットワーク推進事業
	C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	5 青少年の交流・体験事業 6 青少年の社会参加事業 7 異世代交流促進事業 8 青少年支援事業
事業施設課 青少年育成 センター	A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与	1 諸室及び物品の貸出 2 利用促進事業
		え 相談、助言	3 相談・コーディネート 4 情報提供
		お 調査、資料収集	5 専門委員会による育成センター事業の検証
	B 青少年を支える人材を育成する事業	い 講座、セミナー、育成	6 青少年に関わる人材育成のための研修・講座 7 青少年団体等を支援するための研修・講座 8 行政機関や青少年支援団体等と連携した人材育成 9 青少年団体等のネットワーク形成事業
事業施設課 野島青少年 研修センター	A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与	1 施設・設備貸出事業 2 利用促進事業
		お 調査、資料収集	3 体験プログラムの調査研究
	B 青少年を支える人材を育成する事業	い 講座、セミナー、育成	4 青少年指導者育成者研修 5 ボランティアの養成
	C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	6 体験プログラムの提供 7 市民活動団体と協働した体験事業 8 困難を抱える青少年のための体験活動支援 9 地域交流事業
総務課	D その他、この法人の目的を達成するために必要な事業		1 賛助会員及び一般寄附者の拡充 2 寄附金拡充を目的とした収益事業 3 法人の広報・PR 4 職員の人材育成

Ⅲ 2019年度 事業一覧

事業企画課：事業係

事業の柱	公益目的 事業区分	事業名	内容	実施時期 /回数他
A 青少年活動を支援する事業	え 相談、助言	青少年を育成する活動の支援	地域の団体や学校等による「居場所づくり」や「地域の青少年育成活動」の支援を通して、青少年の育ちを見守る地域づくりに取り組みます。また、企業等の青少年育成をテーマとした社会貢献活動の支援にも取り組みます。 (1)地域の青少年育成活動の推進・支援 ①岡村地区青少年活動、青少年の地域活動拠点、地域の青少年育成活動の推進・支援 他 ②中退や進路未決定などのリスクを抱える高校生の支援（実施場所：横浜総合高校 他） (2)青少年をテーマとした社会貢献活動の支援・推進	(1)通年 (2)通年
		活動の相談・助言	活動や団体の課題に対応し、活動プランニング、助言を行います。 ・活動相談（プランニング・助言）	通年
	お 調査、資料収集	調査・研究事業	青少年育成事業の充実を図るため、中間支援組織として事業実施団体の情報収集や活動の支援を行うとともに、事業成果等の発信を行います。 (1)市内の青少年育成事業に関する情報収集と発信 ・ホームページ等を活用した特色ある青少年育成活動の情報提供 (2)青少年及び体験活動等に関する実態調査 (3)青少年育成に係る情報誌「YOKOHAMA EYE`S」の発行 (4)事例研究会・勉強会、連絡会の開催	(1)～(3) 通年 (4)2回以上
B 青少年を支える人材を育成する事業	い 講座、セミナー、育成	子ども・若者に関する講座・研修のコーディネート・講師派遣	青少年指導員、民生委員・児童委員やPTA、学校及び青少年育成団体等が実施する青少年課題（薬物、インターネット、性、非行、自立支援、成人年齢引き下げに伴う青少年の契約トラブル等）をテーマとした研修のコーディネートや講師派遣を行うことで研修を充実し、青少年育成・支援に関する地域力の向上を目指します。 ・知っておきたい！子ども・若者どこでも講座の実施	5月～3月 /64回
		市民への啓発事業	市民向け啓発事業を通して、青少年の支援に関わる人材の拡充を図ります。 ・子ども・若者エンパワメントセミナーの開催	1回
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	青少年育成団体など市民団体や関係機関等と協働して、地域資源を活かした体験活動の機会を提供するとともに、青少年が成長するうえでの体験活動の必要性を普及・啓発します。 (1)体験活動の普及・啓発に係る広報活動 ・体験活動団体のPRパンフレットの作成・配布 ・体験活動普及イベントの運営支援 他 (2)青少年育成団体や関係機関等と協働した体験機会の提供 ・外国につながる青少年たちへの体験機会提供のモデル実施 他	(1)通年 (2)2回以上
		道志村と連携した社会体験・交流プログラム	道志村と横浜市の友好交流を促進するために道志村児童の受入事業を実施します。	10月

事業企画課：かもん未来塾

事業の柱	公益目的 事業区分	事業名	内容	実施時期 ／回数他
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	寄り添い型 生活支援事業	安定した生活基盤や学習機会が十分に与えられず困難を抱えている小中学生を対象に「気づき、やる気、希望」を引き出す寄り添い型支援を地域や専門機関との連携により実施しています。 ・かもん未来塾の運営	通年

キッズ運営課

事業の柱	公益目的 事業区分	事業名	内容	実施時期 ／回数他
A 青少年活動を支援する事業	え 相談、助言	放課後キッズクラブの安定的な運営に向けた相談、助言	放課後キッズクラブ運営の実績を活かし、地域立ち上げ型NPO法人等を対象に、助言やノウハウを提供します。また、はまっ子ふれあいスクールから放課後キッズクラブへの円滑な移行及び移行後の安定運営を支援します。	通年
B 青少年を支える人材を育成する事業	い 講座、セミナー、育成	放課後3事業スタッフの人材育成研修	横浜市の放課後児童育成事業の目的を達成するために必要な資質を備えた人材育成のための研修を実施します。 ※「横浜市放課後児童育成事業人材育成研修」を受託	通年
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	放課後キッズクラブ運営	児童の自主性や主体性・創造性を培い、安全、人権、教育に配慮しながら、市内17区27か所のキッズクラブの安定的な運営を行ないます。 また、平成17年度及び27年度開設キッズクラブ(9か所)の運営法人再選定に応募します。 (1)学校教育では得られない体験プログラムや発達に応じたプログラム等を実施します。 ・地域人材を活用したプログラム ・スポーツ、文化活動、食育、環境プログラム等 (2)評議会、保護者会の開催 (3)主任・副主任会議の開催 (4)近隣の放課後事業所等との情報交換や合同スタッフ研修、交流プログラムの実施	通年 27か所 (1)5,000回 (27か所計) (2)評議会 ／2回 保護者会 ／2回以上 (3)13回 (4)随時
		人材育成 (スタッフ研修)	法人独自の研修を通じて、放課後児童育成に関わるスタッフとして必要な知識や技能の習得・向上を図ります。 (1)主任・副主任を対象に、運営に必要な事務研修のほか、児童や保護者対応など実践的な研修を実施します。 (2)非常勤職員を対象に、具体的事例をもとにした振り返りとブラッシュアップを目指した研修を実施します。	(1)6回以上 (2)3回以上
		ボランティア・高校生インターンシップ受け入れ	法人運営施設等と連携し、ボランティア活動希望者や社会貢献活動実習生を受け入れます。	夏休み 1回以上

事業施設課：青少年交流・活動支援スペース（さくらリビング）

事業の柱	公益目的 事業区分	事業名	内容	実施時期 /回数他
A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与	場の提供による活動支援事業	青少年が気軽に安心して過ごすことのできる居場所を提供します。また、利用者の要望に合わせた柔軟なサービスを提供します。多くの青少年に居場所及び活動の場を提供するため、情報発信の充実に努めます。 (1) フリースペースの運営 (2) 諸室の貸出	通年
	え 相談、助言	相談による活動支援事業	青少年に対する日常的な相談・助言、傾聴を行い、信頼関係を築くとともに、個別相談や啓発事業により必要かつ適切な支援に結び付けます。 (1) 日常的な相談支援事業 (2) 個別相談事業 (3) 啓発事業（パネル展 等）	(1) 通年 (2) 通年 (3) 1回
B 青少年を支える人材を育成する事業	い 講座、セミナー、育成	青少年サポーターの育成・活動推進事業	青少年の身近なサポーターとなる大学生以上のボランティアスタッフを育成します。 ・青少年サポーターの育成・活動の推進	通年
		地域の青少年関係者のネットワーク推進事業	周辺地域の青少年関係者の繋がりを目的に、青少年理解をテーマとしたセミナーを開催します。 ・地域ネットワークセミナーの開催	1回
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	青少年の交流・体験事業	世代や地域を越えた人々との出会う機会を提供するとともに、青少年が主体的に地域で活動できるよう活動のサポートを行います。 (1) 交流促進事業 (2) 青少年チャレンジサポート事業【新規】	(1) 12回 (2) 4回
		青少年の社会参加事業	青少年が社会との繋がりを意識しながら活動し、社会や将来を考えるきっかけになる社会体験プログラムを実施します。 (1) 社会体験・就労体験事業 (2) 青少年ボランティア事業【拡充】 (3) 青少年委員会の運営	(1) 2回 (2) 通年 (3) 通年
		異世代交流促進事業	青少年が異世代交流を通して、ロールモデルと出会い、活動や学び合う機会が拡充することを目指し、交流促進事業を実施します。 (1) 地域交流事業 (2) 子ども若者コミュニティ事業	(1) 1回 (2) 2回
		青少年支援事業	困難を抱える青少年を支援する団体等と連携を図り、活動の機会や場の提供を行います。 ・小中高生を対象とした居場所づくり活動の支援	通年

事業施設課：横浜市青少年育成センター

事業の柱	公益目的 事業区分	事業名	内容	実施時期 /回数他
A 青少年活動を支援する 事業	あ 施設の貸与	諸室及び物品の貸出	<p>研修室や機材、印刷機、着ぐるみなどの貸出を行うことで、地域の青少年活動を支援します。</p> <p>(1) 研修室や研修機材等の貸出 (2) 団体活動の支援（プリントルーム、交流スペースの提供 等） (3) 利用者サービスの向上（情報提供、貸ロッカー等）</p>	通年
		利用促進事業	SNS等を活用した広報による利用促進を行います。	通年
	え 相談、助言	相談・コーディネート	<p>青少年の指導者・支援者および関係団体に対して、プログラムの企画立案や組織運営、資金調達会場の優先利用、地域での活動、研修会の講師選定や企画等の相談・コーディネートを行います。</p>	通年
		情報の提供	<p>青少年育成に関する情報や図書などが閲覧・収集できる「ユースライブラリー」の運営やホームページやSNS等を通じて、青少年関係情報を発信します。</p> <p>(1) ユースライブラリーの運営【新規】 (2) 青少年関係情報の収集発信（情報収集・提供） ・研修・講座や講師情報の提供 ・Facebookページの作成【新規】</p>	通年
		お 調査、資料収集	専門委員会による事業の検証	<p>青少年育成に携わる学識経験者や実践者を含めた専門委員会を設置し、施設運営や実施する研修・講座を多角的な視点から検証します。【新規】</p>
	B 青少年を支える人材を育成する事業	い 講座、セミナー、育成	青少年に関わる人材育成のための研修・講座	<p>地域で青少年に関わる人材のレベルアップを図るための、研修・講座を実施します。</p> <p>新たに、地域活動の担い手となる若い世代を対象として研修・講座を実施します。</p> <p>(1) 子ども・青少年の理解につながる研修・講座 (2) 困難を抱える青少年に寄り添う人材育成(連続講座) (3) 青少年と関わるためのスキルアップ研修 (4) 次世代人材の育成研修</p>
青少年団体等を支援するための研修・講座			<p>団体運営のヒントや活動に役立つ考え方や手法を学ぶ研修を実施します</p> <p>(1) 活動に役立つマネジメント研修（広報、資金等） (2) 青少年が地域に繋がる場づくり講座 (3) 提供プログラムが充実する研修講座</p>	(1)年2回 (2)年4回 (3)年2回
行政機関や青少年支援団体等と連携した人材育成			行政機関や青少年団体等との協働により、幅広い人材の育成を図ります。	年4団体
青少年団体等のネットワーク形成事業			<p>青少年育成や団体運営に関する課題の共有やノウハウなどの情報交換を通して、団体・施設間の学び合いを推進します。</p> <p>(1) 青少年育成関係者の交流勉強会（ユースゼミ） (2) 子ども青少年に関わる関係者のつどい (3) 青少年に関わる人材を拡充する講座（フォーラム等）</p>	(1)年5回 (2)年1回 (3)年1回

事業施設課：横浜市野島青少年研修センター

事業の柱	公益目的 事業区分	事業名	内容	実施時期 ／回数他
A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与	施設・設備貸出事業	施設の安全性、利便性を高めるため、利用団体の活動目的や特性を配慮し、プログラムをサポートします。 (1) 事前相談における丁寧な対応、柔軟なコーディネート (2) 利用者の利便性の向上のための物品販売 (3) 研修センターでの体験活動に役立つ情報（服装・気象等）の発信【拡充】	通年
		利用促進事業	多くの青少年や青少年指導者に活動や研修の機会を提供することによって、利用促進を図ります。 (1) 高校・大学を対象とした広報 (2) 親子参加型の事業を通じた利用促進【新規】	通年
	お 調査、資料収集	体験プログラムの調査研究	青少年の成長に効果的な独自の体験プログラムを提供するため、体験プログラムを調査、検証します。 ・体験プログラム実施校・団体を対象としたアンケート調査、検証	通年
B 青少年を支える人材を育成する事業	い 講座、セミナー、育成	青少年指導者育成者研修	青少年指導者・育成者の活動支援を目的とした講習会の実施と、青少年の体験活動や研修で活用できる情報を提供します。 ・実践的な指導者・育成者対象講習会の実施	4月
		ボランティアの養成	青少年の体験活動を支える体制づくりをめざし、高校生からシニアまでの幅広い層にボランティア活動機会を提供し、活動を支援します。 (1) 青少年を対象とする施設ボランティアの養成 (2) 市民を対象とした事業や体験プログラムでのボランティアの受け入れと支援 (3) シニア世代ボランティアが活躍するための養成講座の実施【新規】	(1) 通年 (2) 通年 (3) 5月
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	体験プログラムの提供	利用者のニーズや学校の教育カリキュラムに応じた体験プログラムを提供します。 (1) 施設特性を活かしたプログラムの提供 (2) 自然環境を活かしたプログラムの提供 (3) 地域産業との連携によるプログラムの実施	通年
		市民活動団体と協働した体験事業	青少年に安全かつ充実した体験機会を提供するため、市民活動団体と協働して事業を実施します。また周辺の環境保全にも取り組みます。 (1) 自然体験キャンプの実施 (2) 自然・文化体験教室の実施 (3) 野島海岸の保全活動	(1) 3回 (2) 2回 (3) 4回
		困難を抱える青少年のための体験活動支援	困難を抱える青少年がコミュニケーション能力の向上や自信回復を図れるよう、生活体験や集団活動の機会を他団体と連携して提供します。 (1) 不登校児童生徒の宿泊体験の実施 (2) 障がいのある児童生徒の宿泊体験の実施 (3) 困難を抱える青少年を対象とした宿泊体験や日帰り活動の支援	(1) 11月 (2) 12月 (3) 通年
		地域交流事業	施設の活動及び青少年育成活動への理解を深めてもらうため、事業連携を通じて近隣地域との交流を深めます。 (1) 地域住民と連携した事業の実施 (2) 地域連携会議の開催 (3) 地域や地域で活動するNPO団体と連携した防災への取り組み	(1) 26回 (2) 2回 (3) 通年

総務課

事業の柱	公益目的 事業区分	事業名	内容	実施時期 ／回数他
D その他、この法人の目的を達成するために必要な事業		賛助会員及び一般寄附者の拡充	<p>賛助会員と一般寄附者の新規開拓並びに寄附拡充をめざし、施設と活用した会員募集事業の実施、会員及び事業協力者の交流の場の提供に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員募集事業（陶芸体験教室 等） 	2回
		寄附金拡充を目的とした収益事業	<p>日頃、青少年活動に関わりのない市民の方にも本事業に関わることで、法人事業の理解と青少年活動への関心を深めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・爆笑！濱っ子寄席（チャリティー寄席） <p style="text-align: center;">【収益事業】</p>	12月
		法人の広報・PR	<p>法人活動並びに寄附金を活用した事業を発信することで、青少年育成の理解と関心につなげます。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) よこはまユースレター(法人情報紙：年36,000部) (2) 法人ホームページの維持・管理 	(1) 3回 (2) 通年
		職員の人材育成	<p>職員として身に付けるべき技能・力量形成に必要な研修(実務、管理、マネージメント)を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 新採用職員研修 (2) 専門研修・階層別研修 (3) 管理職研修 (4) 人権研修 	(1) 採用時 (2) 随時 (3) 随時 (4) 1回